

名号の森

富士吉田市大明見

忍野村から北西へひと山越えると、富士吉田市大明見に出る。市街地から外れ、人里を見下ろす小高い場所に「名号の森」と称し、親鸞聖人の銅像（聖人逗留から780年を記念して建立）と名号の石碑が建立（柏木家37代 2004年建立とあり）されている。

以前、この場所には柏木家という一族が住んでいたようであり、石碑の記述によると、親鸞聖人が鎌倉より稲田に帰る途中、柏木家に逗留されたとある。その際に、聖人が一族を教化し「六字名号」を授けたとのことである。

また、後年、柏木家御坊という一庵の姉妹の1人は福源寺（本願寺派 富士吉田市下吉田）を起こし、1人は福善寺（本願寺派 南都留郡西桂町）を起こした。柏木家は当地の有力者であったのであろう。親鸞聖人の教えに従い、代々「名号の森」と「六字



名号の森

名号」を守ってきたようである。

この地には平安時代の生活の跡や、多くの遺物が発見されていて、この周辺が明見村発祥の地とも言われ「古屋敷遺跡」となっている。